

令和4年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラス与野本町教室

集計日：令和4年12月28日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		ガイドライン上必要な1人当たり2.47平方メートル以上の床面積を確保しております。	個別療育であるため、枠組み内のお子さまは多くて5名となっております。引き続き、適切なスペースにおいて安全にご利用いただけるよう工夫をしております。
②職員の配置数は適切であるか	○		管理者兼務児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員2名を配置しております。	ガイドラインで必要だからという考えのみならず、安全のために必要な人員という観点からも配置を行えるよう心がけてまいります。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		入口公道に接する箇所の段差の解消を行い、事業所内には段差がない構造となっております。	トイレや相談室に関して、充分ではないと思っております。必要となるお子さまのニーズに応じて考慮してまいります。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		朝礼時に、前日からの引き継ぎ事項、当日の来所生徒、支援内容、注意事項を職員間で確認しております。	継続してまいります。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		半年に一度継続して実施し、結果をもとに必要な改善を行っております。	引き続きアンケートとそれに基づく改善をしております。
⑥保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		今年は2～3回実施いたしました。その結果をもとに必要な改善をしております。	引き続きHP上へ掲載いたします。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページへの掲載をしております。	引き続き継続してまいります。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	実施の前例はございません。	改善のために必要と認めるときには、実施の検討を行ってまいります。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		日々の支援の機会をアセスメントの機会として、前回の様子をもとに活動の組み立てをしております。日々の支援日誌に基づく活動・計画の策定を行っております。	全職員が個別支援計画を把握した上で、引き続き支援してまいります。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		標準化されたものは現在使用しておりませんが、今後使用についての具体的な検討をしております。	全職員が個別支援計画を把握したうえで、引き続き支援してまいります。

⑪子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	○	活動の組立ての際には、前回の支援日誌を確認し、積極的に声掛けをする等して報連相の漏れをなくしていくことで、日頃からチームで支援する力を高めております。	引き続き個に応じて、楽しく参加できるトレーニングの組み立てをしております。
⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○	○	トレーニングの内容は毎日変え、来所するお子さまに合わせた活動を設定し支援しております。	ガイドラインの支援すべき内容とその週のテーマに合わせて、お子さまが楽しみながら参加できる活動を提供しております。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	○	個別療育であることから、個別のニーズに応じて課題の設定はしておりますが、平日・休日による切り分けはしておりません。	長期休暇の際には、イベント活動等を設定することで、メリハリのある活動を心掛けてまいります。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○	個別活動を通し、集団活動に参加できるスキルを身につけた上で、集団活動の参加を提案しております。そのうえで、お子さまの実情に則した支援計画を作成しております。	引き続き個に応じて、楽しく参加できるレッスンの組み立てをしております。
⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○	○	朝礼時に、前日からの引き継ぎ事項、当日の来所生徒、支援内容、注意事項を職員間で確認しております。	ガイドラインの支援すべき内容とその週のテーマに合わせて、利用者さんが楽しみながら参加できる活動を提供しています。
⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか	○	○	終礼時には当日の支援の振り返り、共有事項、翌日以降への引継ぎ事項などを確認して共有をしております。	職員間で、当日の支援を振り返り、翌日以降の支援に活かせるよう話し合いをしております。
⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○	定期的に児童発達支援管理責任者が中心となり、ケース会議にて支援計画の見直しの必要性の判断をしております。	期日に限らず見直しが必要だと思われるものに関しては、その都度更新をする態勢を整えてまいります。
⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	○	○	基本活動の「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせ支援をしております。	「地域交流の機会の提供」に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により一部活動を控えております。
⑲日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○	支援日誌は当日中に記載することを原則とし、次の活動の組立てに活かせる状態を常に作っております。	会議前に教室内でケース会議を行い、参加者以外にも共通認識が図れるようにしております。
⑳定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	保護者の方の同意をいただいた上で、学校との連絡・連携をしております。	学校での様子を見学し、そこでの困りごとにも対応できるよう体制を整えています。学校との支援内容の共有等も行っております。
㉑障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○	児童発達支援管理責任者・教室長が参加をしております。	会議前に教室内でケース会議を行い、参加者以外にも共通認識が図れるようにしております。

⑳母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	今年度の実施例はございません。	各事業所と情報共有ができるよう関係性構築をしてまいります。
㉑移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	ご希望のあった方の情報共有を実施しております。	切れ目のない支援のため、ご希望に合わせて情報共有を行います。
㉒移行支援として、小学校や特別支援学校（初等部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	さいたま市が開催している研修に参加しております。また児童発達支援センターが開催する療育カンファレンスを実施しております。	今後も連携の機会を増やし、切れ目のない支援を行ってまいります。
㉓他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	通所されているお子さまは学校等、社会生活の場で交流する機会がございます。	今後も社会生活場面でのやりとりがより潤滑になるように支援してまいります。
㉔保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	現在は実施しておりません。	園での生活に結びつくように、活動設定を行っております。必要に応じて園への訪問を行っております。
㉕協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	地域協議会に参加しております。	地域協議会では他事業所との連携や、地域課題に関しても取り扱っております。
㉖日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	実際にプログラムとして実施することは行っておりませんが、個別療育であることの特質を活かして、関わり方を学んでいただける機会を提供しております。	共通理解が図れるよう、面談等を設定してまいります。
㉗保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○	実際にプログラムとして実施することは行っておりませんが、個別療育であることの特質を活かして、関わり方を学んでいただける機会を提供しております。	保護者との情報共有の強化に努め、家族支援の視点から支援を行ってまいります。
㉘運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	3～6か月に一度の定期面談を実施しております。また、面談希望があった際にも面談を行っております。	運営規定等に変更があった際には、速やかにお子さまに周知するように努めてまいります。
㉙児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	保護者勉強会を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対面ではなくオンラインでの開催となり、保護者同士の連携までつなげることができておりません。	感染状況を踏まえながら対面形式での保護者交流会などの企画を検討してまいります。
㉚定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	お子さまに対しても一人ひとりにあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどサポートしております。	期間に関わらずご家庭の状況に応じて、面談等を実施してまいります。
㉛父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	アンケート実施等により、相談や申し入れをしやすい状況を整備し、受け取ったご意見に対して対応ができるようであれば改善しております。	今後もアンケート実施等により、相談や申し入れをしやすい状況を整備し、受け取ったご意見に対応ができるようであれば改善を行ってまいります。

㉔子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		アンケート実施等により、相談や申し入れをしやすい状況を整備し、受け取ったご意見に対して対応ができるようであれば改善しております。	利用契約時には、苦情受付に関して説明を行っております。
㉕定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		個人情報の記載のあるものは、原則鍵付きのキャビネットに収納しております。	お子さまに対しても一人ひとりにあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどサポートしております。
㉖個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個別療育後のフィードバックの際には、お子さまの現在の社会場面での状況を伺ったり、背景を理解するとともに保護者の方の状況に即して対応を行うよう心掛けております。	お子さまに対しても一人ひとりにあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどのサポートしております。
㉗障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個別療育後のフィードバックの際にはお子さまの現在の社会場面での状況を伺ったり、背景を理解するとともに保護者の方の状況に即して対応を行うよう心掛けております。	必要に応じて、機会の提供をしております。
㉘事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		現在は実施しておりません。	必要に応じて、機会の提供を設けてまいります。
㉙緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアルを策定し事業所内で保管しております。保護者の方への周知が徹底されていなかったところがありました。	マニュアルが共有されるような機会や仕組みを設けてまいります。
㊀非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		避難計画の策定、年に2回の職員の研修・避難訓練・救出訓練を行っております。	必要に応じて実施を検討してまいります。
㊁事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に必ず確認をとっております。	今後も継続して取り組んでまいります。
㊂食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		身体拘束が必要な場合には、職員間でケース会議を行い、必要性の確認をします。その後保護者との面談にて説明し、同意の上で署名捺印をいただいております。	必要に応じて具体的な対応を取ってまいります。
㊃ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		食事の提供の機会はほぼありませんが、契約時には必ずアレルギーの有無を確認しております。	重大なアクシデントに繋がらないように、ヒヤリハットの傾向を調べて共通認識を作っております。
㊄虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し、虐待に関する勉強会も実施しております。	引き続き取り組みを継続してまいります。

<p>㊤どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p>	<p>○</p>	<p>身体拘束が必要な場合には、職員間でケース会議を行い、必要性の確認をします。その後保護者との面談にて説明を行い、同意の上で署名捺印をいただいております。</p>	<p>実際の実施例が想定された時には速やかに対応を取ってまいります。</p>
---	----------	--	--

令和4年度 事業所向け放課後等デイサービス評価表

ハッピーテラス与野本町教室

集計日：令和4年12月28日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		ガイドライン上必要な1人当たり2.47平方メートル以上の床面積を確保しております。	個別療育であるため、枠組み内のお子さまは多くて5名となっております。引き続き、適切なスペースにおいて安全にご利用いただけるよう工夫をしております。
②職員の配置数は適切であるか	○		管理者、児童発達支援管理責任者1名、保育士1名、児童指導員2名を配置しております。	ガイドラインで必要だからという考えのみならず、安全のために必要な人員という観点からも配置を行えるよう心がけてまいります。
③事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	入口公道に接する箇所の段差の解消を行い、事業所内には段差がない構造となっております。	トイレや相談室に関して、充分ではないと思っております。必要となるお子さまのニーズに応じて考慮してまいります。
④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		朝礼時に、前日からの引き継ぎ事項、当日の来所生徒、支援内容、注意事項を職員間で確認しております。	必要な話し合いを日々において継続実施するよう努めてまいります。
⑤保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		半年に一度継続して実施し、結果をもとに必要な改善を行っております。	引き続きアンケートとそれに基づく改善をしております。
⑥事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今年は2～3回実施いたしました。その結果をもとに必要な改善をしております。	引き続きHP上へ掲載いたします。
⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	ホームページへの掲載をしております。	業務改善のため実施を前向きに検討してまいります。
⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		月に1回以上の教室内での勉強会、外部の研修への参加を行っております。	改善のために必要と認めるときには、実施の検討を行ってまいります。
⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		日々の支援の機会をアセスメントの機会として、前回の様子をもとに活動の組み立てをしております。日々の支援日誌の基づく活動・計画の策定を行っております。	全職員が個別支援計画を把握した上で、引き続き支援してまいります。

⑩子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	標準化されたものは現在使用していませんが、今後使用についての具体的な検討をしております。	全職員が個別支援計画を把握したうえで、引き続き支援しております。
⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか		○	活動の組立ての際には、前回の支援日誌を確認し、積極的に声掛けをする等して報連相の漏れをなくしていくことで、日頃からチームで支援する力を高めております。	引き続き個に応じて、楽しく参加できるトレーニングの組み立てをしております。
⑫活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか		○	トレーニングの内容は毎日変え、来所するお子さまに合わせた活動を設定し支援しております。	ガイドラインの支援すべき内容とその週のテーマに合わせて、お子さまが楽しみながら参加できる活動を提供しております。
⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○	個別療育であることから、個別のニーズに応じて課題の設定はしておりますが、平日・休日による切り分けはしていません。	長期休暇の際には、イベント活動等を設定することで、メリハリのある活動を心掛けてまいります。
⑭子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているか		○	個別活動を通し、集団活動に参加できるスキルを身につけた上で、集団活動の参加を提案しております。そのうえで、お子さまの実情に則した支援計画を作成しております。	引き続き個に応じて、楽しく参加できるトレーニングの組み立てをしております。
⑮支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	朝礼時に、前日からの引き継ぎ事項、当日の来所生徒、支援内容、注意事項を職員間で確認しております。	今年度より朝礼の時間を決めることでサービス提供時間前での共有ができるよう改善いたしました。
⑯支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか		○	終礼時には当日の支援の振り返り、共有事項、翌日以降への引継ぎ事項などを確認して共有をしております。	職員間で、当日の支援を振り返り翌日以降の支援に活かせるよう話し合いをしております。
⑰定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○	定期的にケース会議の場を設け、計画の見直しを行っております。	期日に限らず見直しが必要だと思われるものに関しては、その都度更新をする態勢を整えてまいります。
⑱ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○	基本活動の「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」「余暇の提供」を組み合わせて支援をしております。	「地域交流の機会の提供」に関しては新型コロナウイルス感染症ウイルス感染症の影響により一部活動を控えております。
⑲障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	支援日誌は当日中に記載することを原則とし、次回の活動の組立てに活かせる状態を常に作っております。	会議前に教室内でケース会議を行い、参加者以外にも共通認識が図れるようにしております。

⑳学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○		保護者の方の同意をいただいた上で、学校との連絡・連携をしております。	学校での様子を見学し、そこでの困りごとにも対応できるよう体制を整えています。学校との支援内容の共有等も行ってまいります。
㉑医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	児童発達支援管理責任者・教室長が参加をしております。	会議前に教室内でケース会議を行い、参加者以外にも共通認識が図れるようにしてまいります。
㉒就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		必要に応じて、連携の機会を設けております。	児童発達支援と放課後等デイサービスの双方を運用する多機能型としての機能を強めてまいります。
㉓学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			今までに特段のご要望をいただいたことはございませんが、情報提供を行えるように近隣事業所との連携を深めております。	ご要望に応じて、必要な情報提供が行えるように努めてまいります。
㉔児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		さいたま市が開催している研修に参加しております。また児童発達支援センターが開催する療育カンファレンスを実施しております。	今後も研修等に参加し、連携の機会を増やしてまいります。
㉕放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	通所されているおさまは学校等、社会生活の場で交流する機会がございます。	今後も社会生活場面でのやりとりがより潤滑になるように支援してまいります。
㉖協議会等へ積極的に参加しているか	○		地域協議会に参加しております。	地域協議会では他事業所との連携や、地域課題に関しても取り扱っております。
㉗日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		個別療育後のフィードバック等において、日頃の様子を伺い、課題についての共有を図っております。	共通理解が図れるよう、面談等を設定してまいります。
㉘保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		実際にプログラムとして実施することは行っておりませんが、個別療育であることの特質を活かして、関わり方を学んでいただける機会を提供しております。	保護者との情報共有の強化に努め、家族支援の視点から支援を行ってまいります。
㉙運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に説明を行っております。また、教室入口に運営規定、重要事項説明書を掲示しております。	運営規定等に変更があった際には、速やかにおさまに周知するように努めてまいります。
㉚定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		3～6か月に一度の定期面談を実施しております。また、面談希望があった際にも面談を行っております。	期間の設定によらずに、保護者の方からの要望に応じてその都度助言と支援を行ってまいります。

③父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者勉強会を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対面ではなくオンラインでの開催となり、保護者同士の連携までつなげることができておりません。	会の開催に限らず、日頃から保護者の方同士が関わりが持てるように指導員がその役割を担ってまいります。
④父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	お子さまに対しても一人ひとりにあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどサポートしております。	期間に関わらずご家庭の状況に応じて、面談等を実施してまいります。
⑤子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	アンケート実施等により、相談や申し入れをしやすい状況を整備し、受け取ったご意見に対して対応ができるようであれば改善しております。	今後もアンケート実施等により、相談や申し入れをしやすい状況を整備し、受け取ったご意見に対応ができるようであれば改善を行ってまいります。
⑥定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月通信を発行し、保護者の方スペースの見やすいところに掲示を行っております。	引き続き連携体制が保てるように、発信を継続してまいります。
⑦個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報の記載のあるものは、原則鍵付きのキャビネットに収納をしております。	お子さまに対しても一人ひとりにあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどサポートしております。
⑧障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	個別療育後のフィードバックの際には、お子さまの現在の社会場面での状況を伺ったり、背景を理解するとともに保護者の方の状況に即して対応を行うよう心掛けております。	お子さまに対しても一人ひとりにあったツールを使用したり、問いかけの方法を変えるなどのサポートしております。
⑨事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	個別療育後のフィードバックの際にはお子さまの現在の社会場面での状況を伺ったり、背景を理解するとともに保護者の方の状況に即して対応を行うよう心掛けております。	必要に応じて、機会の提供をしております。
⑩緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○	マニュアルを策定し事業所内で保管しております。保護者の方への周知が徹底されていなかったところがありました。	マニュアルが共有されるような機会や仕組みを設けてまいります。
⑪非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	避難計画の策定、年に2回の職員の研修・避難訓練・救出訓練を行っております。	トレーニング内でも、防災をテーマに避難訓練や通報訓練を実施しております。
⑫虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	虐待防止委員会を設置し、虐待に関する勉強会も実施しております。	今後も継続して取り組んでまいります。

<p>④①どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか</p>	<p>○</p>	<p>身体拘束が必要な場合には、職員間でケース会議を行い、必要性の確認をします。その後保護者との面談にて説明を行い、同意の上で署名捺印をいただいております。</p>	<p>必要に応じて具体的な対応を取ってまいります。</p>
<p>④②食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか</p>	<p>○</p>	<p>身体拘束が必要な場合には、職員間でケース会議を行い、必要性の確認をします。その後保護者との面談にて説明し、同意の上で署名捺印をいただいております。</p>	<p>必要に応じて医師との連携を図ってまいります。</p>
<p>④③ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか</p>	<p>○</p>	<p>ヒヤリハットの事例集を作成しております。事業所内でおきたヒヤリハットに関しては、全職員が報告書を確認後ファイリングして保管しております。</p>	<p>重大なアクシデントに繋がらないように、ヒヤリハットの傾向を調べて共通認識を作ってまいります。</p>